

保護者の皆さま

美作市立作東中学校

校長 田村 浩一

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

秋冷の候、保護者の皆様には益々、御健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、本校の教育活動に御理解、御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年度中学校3年生を対象に実施いたしました全国学力・学習状況調査につきまして、結果が報告され、本校でも次のような分析を行いました。生徒の学力向上に向けて今後とも授業改善等、全教職員で取り組んで参りたいと考えております。御家庭でもお子様の学習活動につきまして御協力いただきますよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

記

令和6年度全国学力・学習状況調査から

結果分析（○強み ●弱み）

【国 語】

○「書くこと」に関しての問題について、正答率が全国平均より高い。特に、自分の考えが伝わるように工夫することができるかを問う問題の正答率が高いことから、「伝える力」の育成に力を入れた授業を行っている効果であると考えられる。

●「読むこと」に関しての問題について、正答率が全国平均より低い。特に、文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかを問う問題の正答率が低いことから、説明文などの読解に課題が見られる。

【数 学】

○「数と式」「関数」の分野における問題について、正答率が全国平均より高い。特に、グラフを使った問題や、計算問題などの正答率が高いことから、基本的な知識・技能は定着していると考えられる。

●「図形」「データの活用」の分野における問題について、正答率が全国平均より低い。特に証明問題や、複数のデータの分布を活用する問題の正答率が低いことから、じっくりと考えることへの課題が見られる。

【学習状況調査より】

○約9割の生徒が朝食を毎日とっている。

○9割以上の生徒が毎日、同じくらいの時刻に寝る・起きるを行っていた。

●平日は3割、休日は1割以下の生徒しか1時間以上家庭学習に取り組んでいない。

●4割以上の生徒が、1日当たり2時間以上、テレビゲーム(スマホ・タブレット含む)を行っている。

【学校としての対応・目標】

・引き続き「聴く力」「考える力」「伝える力」を育む授業実践を行っていく。

・分かる問題で学習への意欲や自己肯定感を高め、難しい問題で思考力や忍耐力を高められるように、バランス良く問題に取り組むように工夫する。

・家庭学習を行って良かったと実感できるように課題の内容と出し方を工夫することで、家庭学習に取り組む生徒の割合を増やす。

※尚、裏面に同調査【美作市結果・概要】を掲載しております。こちらもどうぞご覧ください。